



豆一俵物語・・・反一俵の大豆の増収で会津を元気にしよう

だいで通信 第5号 (通算62号)

(令和6年3月発行)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)

福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部

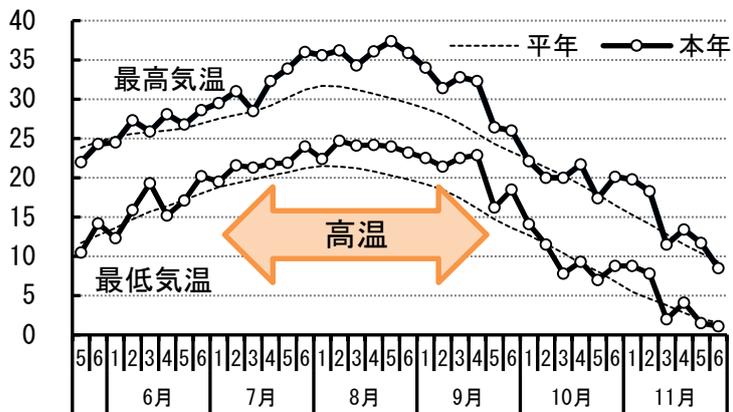
福島県会津農林事務所農業振興普及部

国産大豆の需要が高まっています。大豆生産を拡大しましょう！

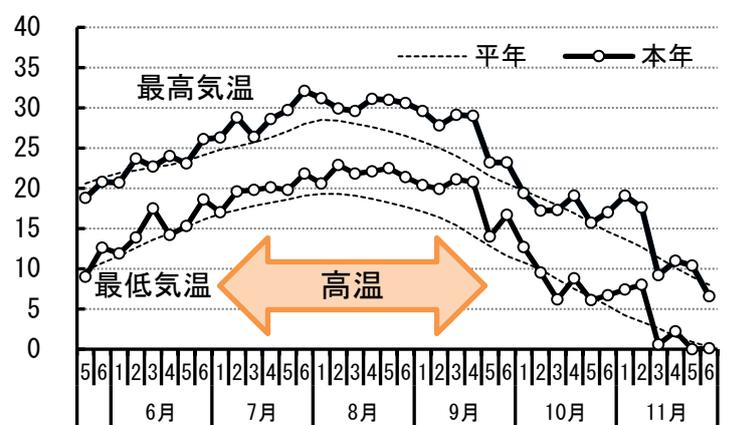
1 気象経過

○気温

若松

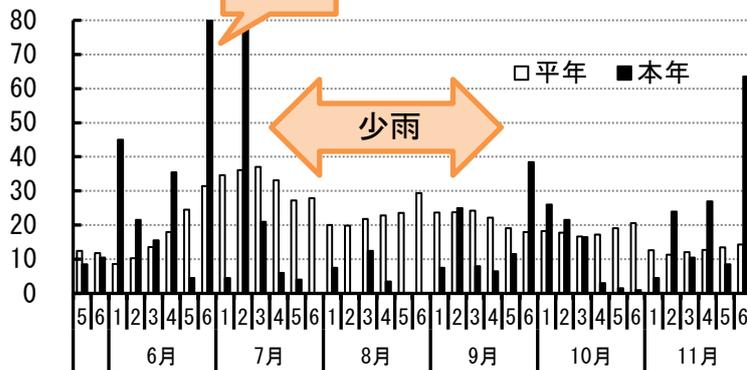


猪苗代

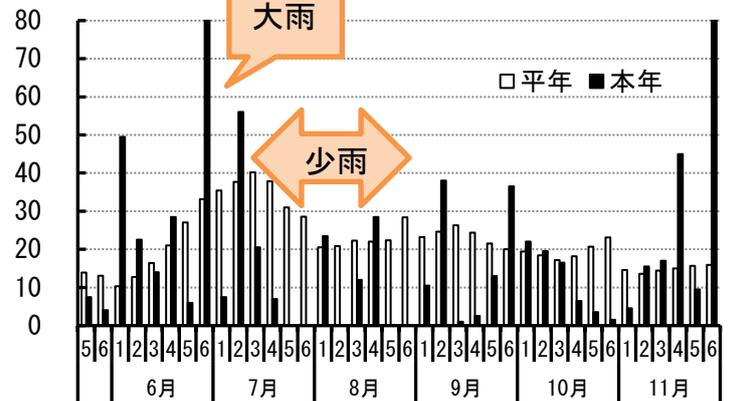


○降水量

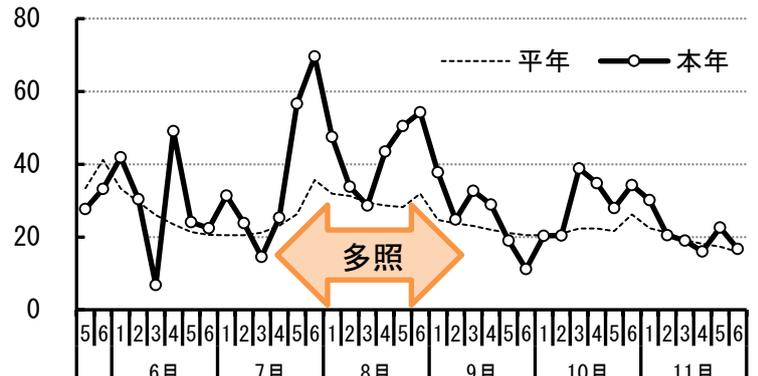
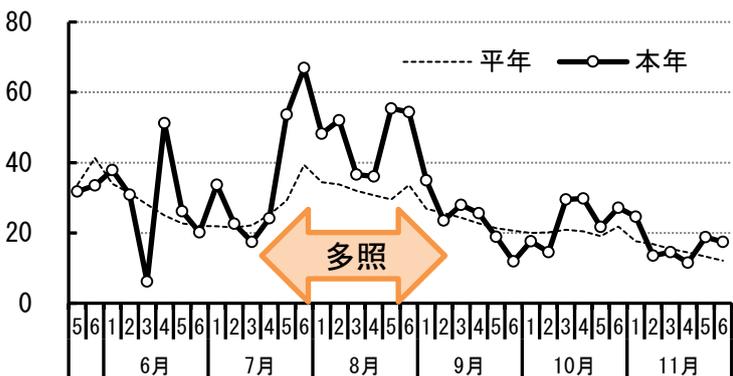
大雨



大雨



○日照時間



○気象概要

- ・気温 : 7～9月にかけて平年を大きく上回る高温の日が続きました
- ・降水量 : 6月は断続的な降雨がありました。
7月2半旬に大雨がありましたが、その後7月3半旬から9月上旬まで著しい少雨となりました。
- ・日照時間 : 7月～9月上旬にかけて多照となりました。

2 令和5年度の生育を振り返って

(1) 播種～出芽期

- ・播種作業はおおむね5月末から6月4半旬までに行われました。
- ・6月前半の降雨により播種作業の遅れが見られました。
- ・6月後半の大雨や7月2半旬の大雨により出芽不良やばらつき、生育遅延等**湿害**が見られました。

(2) 生育～開花期

- ・7月中旬から9月上旬にかけて高温少雨だったことから、生育は進みました。湿害を受けたほ場でも生育の回復が見られました。
- ・著しい高温・少雨は9月まで続き、**土壌の過乾燥状態**が続いたため、平坦部では葉が枯れる、花落ちする等の干ばつ害が見られました。
- ・7月中旬からツメクサガ等などの**食葉性害虫**による食害が確認されました。高温が続いたことから、平年よりも多い発生でした。
- ・一部のほ場ではタデ類やイネ科類などの雑草の繁茂が確認されました。

(3) 子実肥大～成熟・収穫期

- ・10月ごろから**黒根腐病**に感染している株で早期の落葉が起き、広域的な感染が確認されました。
- ・気温が高かった影響で、多くのほ場では成熟期が早まりました。
- ・一方で**干ばつ害**を受けた平坦部のほ場では、青立ち(莢が成熟しているが、莖が水分と緑色を保ち続けている状態)が見られ、成熟期が遅れました。
- ・収穫作業はおおむね11月1半旬から11月6半旬までに行われました。
- ・**黒根腐病**の発病が確認されたほ場では減収が見られました。発病程度で収量減の差がみられました。
- ・マメシンクイガ等の**害虫による子実の食害**が平年より多く確認され、莢や子実を食害する害虫も多く発生していました。
- ・大豆の単収は生産者ごとにばらつきが大きく、品質は3等が多くみられました。

○まとめ

今年度の生育経過より、以下4点が特徴的でした。

「生育初期の湿害」「高温・少雨による干ばつ」「害虫による食害」「黒根腐病による減収」



3 今後の対策について

(1) 生育初期の湿害

○排水対策

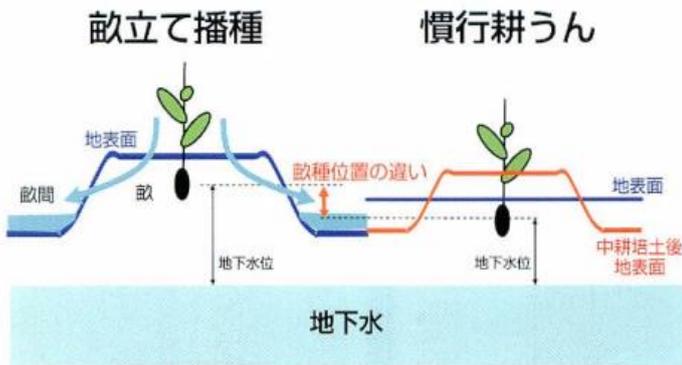
- ・播種前後の排水状況に応じて、明きょや補助暗きょ（心土破碎、弾丸つきサブソイラなど）を行うとともに、本暗きょが機能しているかを確認しましょう。

○播種

- ・大豆は梅雨に入ってから播種を行うと、長雨により湿害を受けやすくなります。
梅雨に入る前（5月下旬～6月上旬）に播種できるよう、計画的に準備を行いましょう。
- ・湿害を回避する以下の播種技術の試験導入も検討してください。

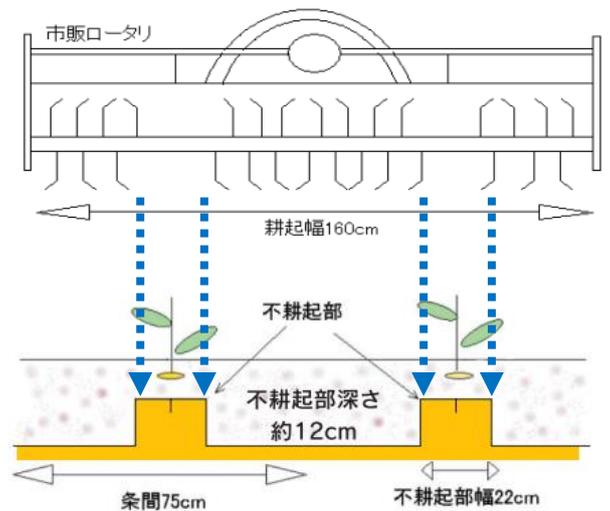
耕うん同時畝立て播種

- ・逆転ロータリーの刃の向きを変えることにより、10～15cm程度の畝を立てて播種する方法
- ・播種位置が高く湿害軽減となる
- ・土塊が細かくなり出芽良好となる



有芯部分耕播種

- ・ロータリーの爪を一部外して不耕起部分を残し、その上に播種する方法
- ・不耕起部分の土壤水分の変動が小さい
(乾燥時含水率大、湿潤時含水率小)



(2) 高温・少雨による干ばつ

- ・大豆は要水量(植物体 1g の物質生産に要する水分量)が多い作物で、イネの2～3倍とされています。
- ・特に開花期～子実肥大期(7月末～9月)にかけて子実を肥大させるため水分が必要となります。
- ・開花期以降の乾燥ストレスを回避するために以下2点の対策が考えられます。

①土づくり

保水性、通気性、浸透性の改善、根粒活性を高める必要があります。

→ 堆肥の施用 (毎年 1t/10a)

- ・ 土壌 pH の調整 (pH6～6.5 を目標にしましょう。)

②かん水

- ・朝夕の涼しい時間帯に**畝間かん水**を行きましょう。
- ・ほ場全体の明渠に水が行き渡ったら素早く落水しましょう。
- ・灌水する場合、明渠と畝間によりほ場全体に水が行き渡ることを確認しましょう。



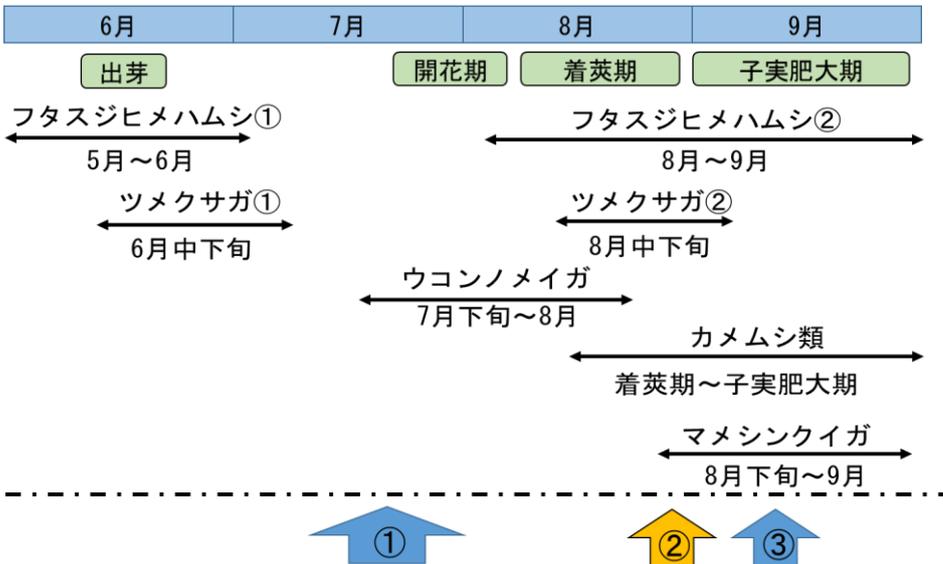
葉が裏返っている様子

かん水する目安

- 1週間以上降雨がない場合
- 50%以上葉が裏返っている場合

(3) 害虫対策

- ・防除は適期にできていますか。害虫により発生時期が異なります。(以下図参照)
- ・発生時期に合わせて適期防除に努めましょう。



防除タイミング

- ①葉への食害が目立ってきた場合
(7月中下旬)
- ②8月5~6半旬
(紫斑病の防除と併せて)
- ③9月1~2半旬

(4) 黒根腐病対策

黒根腐れ病は早期に枯れ上がり簡単に引き抜けてしまうことが特徴で、罹病してしまうと、収量低下やしわ粒が増えて品質の低下を引き起こす原因となります。

罹病の可能性を下げるために以下の対策を行きましょう。

- ①登録のある薬剤の散布をしましょう。

薬剤名	使用方法	使用時期
クルーザーMAXX	塗沫処理	は種前
シルバキュアフロアブル	株元散布	出芽4週間後以降(但し、収穫7日前まで)

②排水対策

- ・排水不良のほ場で発病程度が高いことが分かっています。上記(1)の対策を参考にして、排水対策してください。